

07 年原村星まつり

8 月 3 日～5 日。07 年原村星まつりに行ってきました。

毎年参加しているイベントですが、例によって出店エリアにはそれほど立ち寄らず、観望エリアでのんびり過ごした 3 日間でした。

観望エリアを中心に今年の原村星まつりの様子を紹介します。

・初日

午前中に用事を済ませ、17 時、星まつり会場のハヶ岳自然文化園に到着。先着の Fukuda さん、ツジさんが小ぶりの自立式タープを建てて場所取りをしてくれていました。隣にクマが預かっている丹星所有の大型タープを設営するつもりでしたが、接近中の台風 5 号の影響で風が強く設営を断念。気温も夏とは思えないほど肌寒い一日でした。🌀🌧️

丹星等クマの星仲間で初日からの参加者は 6 名。空も一晩中曇天で時折小雨混じりの状態、と言う事で自ずと**宴会モードに突入**。まあお約束のようなものですから。

初日で星仲間も少なめでこじんまりとした呑み会だった割には、翌朝にはかなりの量の空き瓶が並んでいました。🍷🍹

この日は台風の影響もあり、夜には早々と店じまいしたブースが多かったかな。🌧️

・2 日目

7 時ごろ起床。長い一日の始まりです。天気の方も多少雲が残るものの晴れ間も見えており、今夜への期待も十分です。昨夜までの風もおさまり早速タープを設営してから朝の身支度を整えます。朝食を済ませた後、出店エリアを軽く散歩しました。☀️

丹星のヒデアキさんご夫婦が出店の StadioTorajiro の様子。

星祭りの常連きさら庵、森本商店のブースと一緒に並んでいます。

お揃いのハッピーが良いな～。🎵



Photo by クマ



Photo by ツジさん

お店のオーナー&スタッフが集合。森本おじさんって、その正体はとても高名な学者さんって知ってました？それにしても星祭りのブースとは思えないほど多種多様な品揃え。原村星祭り会場に登場したよろず屋さんですね。
今年の売れ行きはどうでしたか？



Photo by ツジさん

うらしまさん、ねこさん、ヒデアキさん揃い踏み。
きらら庵でお菓子でも食べているのかな。

そのまま適当に場内を散策してみました。国際光器のブースでちょっと珍しいアイピースを見つけ思わず欲しくなったけど、ここはグッと我慢…。

ベースに戻ってくつろいでいると、仲間が何やら用紙を持ってきた。どうやら今年は観望エリアの機材紹介をするらしく、愛器の紹介を書いて機材に掛けておき、後ほど全員で機材紹介をすると言う事らしい。



Photo by クマ

お昼の2時から機材紹介が始まりました。
MC 担当は関西から駆けつけたちゃつきりさん。
浪速女のパワー全開です。👉

観望エリアに設置された機材を幾つか紹介します。

一応紹介順に掲載していますが、実はクマは自分の番まで昼寝をしており、クマより前の方の紹介を聞きそびれてしまいました。🐼🐼

※顔写真の掲載許可を得ていないので、仲間の機材のみオーナー自身による紹介風景を掲載し、他の方は機材写真のみを掲載しています。



Photo by クマ

・常連さんの自作ドブソニアン。

鏡は 30cm ぐらいだったかな。工夫を凝らした外観が手作りらしくて毎年目立っていますね。ちゃつきりさんがミラーBOX を机代わりにして何か書いてるのかな？ クマの機材紹介もこの方法で書きました。

後ろの帽子男は丹星のツジさん。



Photo by ツジさん

・これも常連さんの自作 30cm ニュートニアン&赤道儀。

赤道儀の積み下ろしに小型クレーンを使うほど重厚長大な逸品。自作派究極の姿かも。奇抜なカラーリングが目立ちます。



Photo by クマ

・Vixen のスフィンクス&RFT。

収納箱がカッコ良かったけど写ってなくてすみません…。



Photo by ねこにゃん

・クマの **StarSplitterCompact II -37cm/F4.5。**

今年の原村は月齢が大きかったけど、先月の富士山リベンジを兼ねて敢えて持ち込みました。高性能ミラーのおかげでこれまでも月、惑星、重星の観望にも如何なく威力を発揮してくれており、もちろん今回も期待大です。



Photo by ねこにゃん

・ハチベーさんの **Tele-Vue Pront&コロナド H α フィルター。**

プロミネンスやフレア等、ド迫力の太陽像は必見ですが、今は活動期ではないのかこの日の太陽は全くのっぺらぼうで残念でした。



Photo by ねこにゃん

・丹星ツジさんの **SKY90 ツイン。**

タカハシに頼んでフードのステッカーが左右それぞれ外側に貼ってあります。大勢のギャラリーの注目を集めており、昼間の風景も息を呑むほどシャープでした。



Photo by ねこにゃん

・丹星 Fukuda さんの **GOTO21cm ニュートニアン &8cmED アポ。**

昨年も紹介した筒ですが、21cm の方は今回を最後に自宅に固定するとか。鏡筒だけでも自重 25kg ではそれも致し方ないよね。これまで観望地に運んでいた事自体が無謀です。



Photo by ツジさん

・原村には初登場の自作 18 インチドブ。
確認した限りでは今年の最大口径だったと思う。ポンセットマウントまで装填されており、精度も 5 分程度なら対象が視野に留まっているとのこと。ミラーカバーは何とポリバケツの蓋で、市販品がたまたまサイズがピッタリだったとか。発想がユニークで楽しいけど、せめて色ぐらいいは塗りましょうよ～。これじゃまんまですぜ。☹



Photo by クマ

・タカハシ TOA150&Vixen ホタロン 130mm

なんとも豪華なセットです。オーナー曰く購入の際、星祭りで注目を浴びる姿を思い浮かべたような。立派に目立っています! それにしても TOA150 って EM200 に載せられるんだ。ある意味新発見でしたが、クマの EM200 に載ることは一生ないな。

・自作 15cm ニュートニアン。

鏡は 2 年前のこのイベントで 3,000 円で購入されたそうで、鏡の値段と釣り合うように、いろんなパーツを流用して出来る限り安く仕上げたとか。焼付け塗装で美しい仕上がりでした。今年は四角い鏡筒が幾つか目につきましたね。



Photo by クマ



Photo by ツジさん

・原村星まつりでは 2 年ぶりに見た Ninja400。

ファインダーを交換している以外に特に大きな改造は加えていないとのこと。オーナーのフォーマルハウトさん曰く「世の Ninja400 の中でも最も多くの方に見ていただいた Ninja だと思う」一般観望会の常連さんなのかな。

他にも多くの機材が並びましたが写真を撮っていませんでした。掲載に漏れた方、スミマセン。それにしても毎年さまざまな機材が集まり、いろいろ目移りがして困ります。



観望会場の様子

Photo by うらしまさん

やがて日も暮れてそろそろ観望タイム。

台風一過を期待しましたが、残念な事に空の半分以上に雲が広がりスッキリしない空。それでも大勢の方が集まってくれました。ここからはナビゲーターに徹します。

主な観望対象です。

・木星

時折見せる姿に場内の筒先が集中。低空のためシンチレーションがイマイチで、Nagler4-12mm で 140 倍程度に抑えましたが、それでも SSTB~NNTB までの 4 本程度の縞は見えています。さすがは惑星の王者、アイピースを覗くと皆さん一様に驚きの声を発します。時々ピタッと止まった姿を見てこちらも思わず声が出してしまった。

・M57

Nagler4-22mm+OⅢフィルターの組み合わせ。80 倍弱とショボイですが、倍率を上げると視野から逃げるのも早いので、大勢の方に観てもらう時はどうしてもこれくらいの倍率になってしまう。経緯台の宿命ですね。クッキリとリングが浮かび上がった姿に、木星同様にこちらもかなりウケが良かった。

・M27

M57 と同じ組み合わせで観ましたが、37cm の光量だと写真でおなじみの垂鈴状ではなく、両端の欠けた部分まで星雲が浮かび上がって見えるので皆さん吃驚されます。私も初めて見たときはかなり吃驚した記憶が。

・M8

PanOptic35mm+OⅢの組み合わせ。50 倍弱ですがこのくらい低倍率の方がコントラストも良く、暗黒帯も濃く見えました。惑星状星雲とはまた違った見え方にこちらもなかなか評判が良い。

以上、木星以外はOⅢ向けの対象を選んでみました。

この4天体だけで都合2時間ほど要しました。なかなか列が途切れないんです…。

クマ自身メシエ天体をここまで長時間観たのは初めて。特に M27 を見たのは本当に久しぶりで、前に見たのはもう2年くらい前かな。いつもマイナーな対象ばかり見てるから仕方ないですが。

子供達も喜んでくれたし、メジャーな対象もたまには良いですね。🍷

夜も更けてご家族連れが減ってきたのでリクエストを募ったところ、M13 が観たいとの声が挙がる。アイピースは Nagler4-12mm。

周辺部のスターチェーンが見事で、先ほどよりもシンチレーションが良くなってきているのが判る。中心部まで星が分離して見えるため、以前写真派の方が、「**こういうのを見せられると写真撮るのがバカらしくなる**」と言っていた。**その気持ち判ります。**

球状星団は小口径との比較において見え方の違いが最も顕著な対象のひとつで、ミュロン 250 ですら 37cm との差は歴然。ドブオーナーの大半の方が球状星団を好んで観るのも頷けます。この時は300倍以上でも十分いけるコンディションでしたが、さすがに追っかけるのが面倒だし、ここが一般観望会でのドブの辛いところですね。

夜半近くになり月の高度がかなり高くなった頃、皮肉な事にほぼ全天快晴の空となった。🍷

頭上に架かる天の川もほとんど見えなくなり、同時に周りの機材の撤収も始まった。一般ギャラリーの方もほとんど引き上げ、ここで**第1ラウンドが終了**。

観望開始からここまでずっとギャラリーが途切れず、正直こんなに疲れるとは思いませんでした。隣のハチペーさんが時々交代してくれたから良かったけど、独りだったらとても身体が持たなかったかも。一般観望会はやはり赤道儀の方が無難かな。**-3-3**

椅子に腰掛けてボーっとしながら一服していると、一旦撤収したヒデアキさんが再び登場。

彼もずっと出店ブースに居たためここまでほとんど星を観ていないそうで、ドブのご相伴を受けに来たとの事。ここからハチペーさんも入れて3人で**第2ラウンドを開始**。

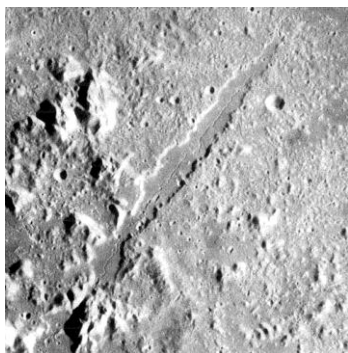
目が眩むのを承知で月でも観ますか、と言うことで、**下弦直前の月**に筒先を向けてみるとシーイングが続いているのか、結構細部まで確認できる。📺

アイピースを **XL5.2mm** に取り替え 320 倍まで上げても何とか OK で、ここまで上げると逆に眩しさが抑えられるし、月が相手だから視野から逃がしようがない。



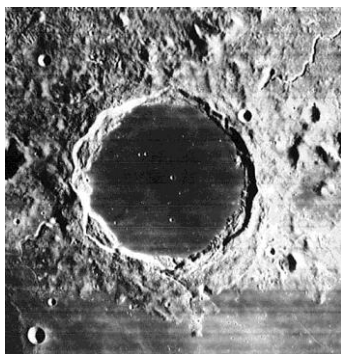
Photo by ねこにゃん

こうやって見ている間にシンチレーションがどんどん良くなり、かなり細部まで確認できるようになってきたので、難物を幾つか見てみた。



・アルプス谷内部の大地溝帯

今夜の対象では最大の難物。最初は外周の山の影しか見えなかったが、じっと見続けているとシーイングのうねりの合間に**黒い筋が明確に確認できた**。同席の二人とも同様に確認できたので間違いないでしょう。二人とも初めて見たそうで、クマ自身ですら2度目の体験で、**これだけでも大満足です**。



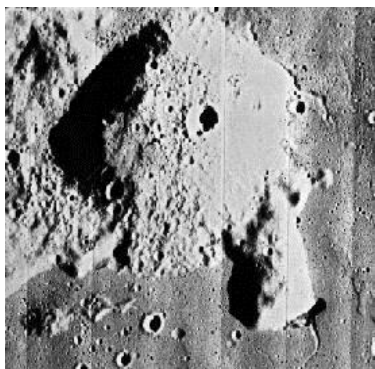
・プラトー(Plato)

底面が暗く平原クレーターの代表格。クレーター内部の**微小クレーターが3個まで確認できた**。事前に位置をお知らせしなかった二人にも確認できたのでこれも間違いなし。更に倍率を上げればあと一個は確認できたと思う。



・デイビーチェーン(Davy-chain)

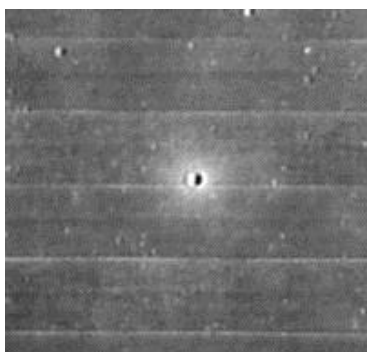
デイビーは月面のほぼ真ん中にあるプトレマイオス西側に隣接するクレーター。そのデイビーの中、プトレマイオス方向のリムから中心に向かって微小クレーターがチェーン状に繋がって見える。**今夜は一つ一つのクレーターが明確に見えました**。これもかなりレアな対象です。



・グレイテュイゼン・ガンマ(Gruithuisen-Gamma)

虹の入り江の南にある直径 10km のドーム状の山。

ATLAS OF THE MOON によると、山頂にある直径 900m のクレーターは天文台クラスの望遠鏡の視認テストに使われるとか。さすがに確認は無理でした。



リンネ(Linne)

晴れの海内部にある直径 2km 深さ 600m の微小クレーター。普段は白っぽいシミにしか見えないけど、この時はちょうど日没帯に差し掛かっていたため、まさにこの写真通りに外輪山が明瞭に確認できてちょっとした感動でした。

シーイングが良いと月面ウォッチは本当に楽しい。大口径による圧倒的な解像度と光量に加わると尚更です。場内に残っていた数名のギャラリーも時々覗きにきてくれたが、覗いた瞬間に皆さん例外なく歓声を上げましたね。

ある一人の方はあまりの迫力ある眺めに、われわれが一通り見終わった後もしばらくの間筒を独占していました。きっと月面ウォッチの面白さを再確認された事でしょう。

気がつけば時計の針が 3 時半を過ぎており、東の空ではうっすらと薄明が始まっていました。久しぶりの見事な月面像に時間を忘れたかの如く観望に没頭した楽しいひと時でした。

・3 日目

7 時に起床。身支度を整えて朝食を済ませてから全員で撤収の準備に取り掛かります。

タープと机を撤去しゴミ拾いをして撤収完了。最後にお約束の全員で記念写真を撮って解散となりました。

主催者の方はじめボランティアの皆さん、お疲れ様でした。

星仲間の皆さん、また来年お会いしましょう。☀️

了